

第33回
木原記念こども科学賞
作品集
－ 2025 年 －



KIHARA MEMORIAL
YOKOHAMA FOUNDATION

木原均博士について



木原均博士（1893年～1986年）は、植物の遺伝学・進化学の研究で大きな業績を残しました。

とくに「ゲノム説」の提唱、パンコムギの祖先の発見は、世界的な研究成果として知られています。また、海外に植物探索の旅にでかけ、日本のフィールド科学の道をひらき、冬季オリンピックの団長を2度つとめるなど、冬季スポーツの振興にも足跡を残しました。

木原均博士の「小さい実験」



木原博士の実験道具（木原記念室所蔵）

木原博士は、コムギの研究のかたわら“ルーペとノートと鉛筆”があればできる「小さい実験」を通して、日常生活の中でふとみつけた疑問を解き明かすことを楽しみました。

小さい実験の例

- 小さい実験① 身近な生物の右巻き・左巻きの観察
- 小さい実験② 人工紅葉
- 小さい実験③ 植物のオスとメス
- 小さい実験④ 植物の性転換

木原記念室 —木原均博士の足跡をたどる—



木原博士のライフワークであるコムギの研究を中心に多彩な業績を様々な角度からたどることができます。横浜市立大学舞岡キャンパス（横浜市立大学木原生物学研究所）内 1F
横浜市立大学木原生物学研究所作成の小冊子「木原均博士が見ていた世界」にご興味をお持ちの方は、木原記念財団までご連絡ください。yamabosi@kihara.or.jp

表紙の絵「曾我の生き物調査2025」 小田原市立曾我小学校 6年 吉松 峻一
「身近で貴重なマハゼ」 川崎市立菅小学校 5年 和合 晴汰

はしがき

「木原記念こども科学賞」は、今回で第33回を迎えることが出来ました。これもひとえに、市や県の教育委員会、横浜市立大学木原生物學研究所に加え、地域の企業、金融機関、生命科学に関わるベンチャー・中小企業・大手企業・研究機関、個人の研究者などの皆様からの幅広いご寄附やご協力の賜物であり、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

「木原記念こども科学賞」は、木原均先生がルーペとノートと鉛筆があれば出来る「小さい実験」を通して、日常生活の中でふと見つけた疑問を解き明かすことの楽しみをベースにしたサイエンスリテラシーの醸成に繋がる科学賞だと思っております。近年、社会的課題を解決するために、個別分野の専門教育だけではなく分野横断的なSTEAM教育が注目されております。これから求められるのは、単に知識を持つだけでなく「課題を自ら発見し、解決策を創出できる能力」です。中でも、サイエンス(科学)の役割は重要で、論理的思考を身に着ける上でも、そして更にサイエンスリテラシーを育む上でも重要だと思っております。大学も社会課題を解決するために、今までの文系、理系の枠を超えた文理融合型の取り組みが進んでいます。こどもたちがサイエンスリテラシーを学べる機会は、益々、重要だと思っております。昨年度から、残念にも表彰選考に至らなかった作品(小学生低学年)に対して「励ましの一言」の取り組みを始めました。「日常生活の中でふと見つけた疑問を解き明かすことに楽しみを持ってくれた応募者」が、これからも継続して取り組んでいけるきっかけになることを期待して始めました。少しでも、サイエンスリテラシー醸成の取り組みの裾野を広げることには繋がればと期待しております。

先日、選考委員の大学の先生から小学校、中学校時代に取り組んだ研究で「木原記念こども学術賞」にて表彰された学生が、取り組んだ研究が面白くて自分の研究室に入室してきたことを伺いました。小学校、中学校時代に取り組んだ「生物の不思議や科学する楽しさを知ってもらうとともに命の大切さを学ぶ機会」としての「木原記念こども科学賞」が、子供達の将来の道標にもなり得ていることを実感することができました。

我々、木原財団は、これからも「木原記念こども科学賞」を継続して取り組んで参ります。そしてこの活動が、少しでも「こどもたちがサイエンスリテラシーを学べる機会」に繋がっていくことを願っております。

お陰様で今年も多くのごども達から、生き物への愛情あふれた作品の応募がありました。まず、応募作品を厳正に審査して頂きました選考委員の先生方のご労苦に感謝申し上げます。また、全ての応募者、子どもたちをお導きくださった学校あるいは家族の皆様方、そして、ご後援くださった全ての関係諸団体の皆様方に、ここに心より感謝申し上げ序文といたします。



2025年12月

選考委員会委員長

公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団

常務理事 村田 正弘

目次

はしがき	P.3
------------	-----

小学校低学年の部

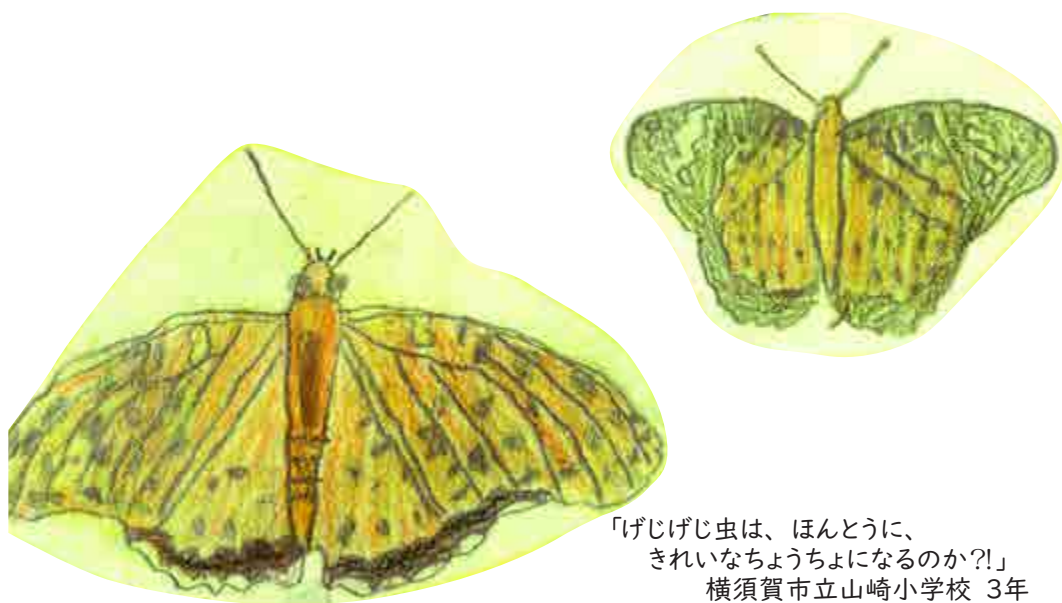
受賞者一覧	P.6
作品を読んで	P.7
最優秀賞抜粋	P.8
優秀賞抜粋①	P.20
優秀賞抜粋②	P.22
神奈川新聞社賞抜粋	P.24
努力賞抜粋①	P.25
努力賞抜粋②	P.26
努力賞抜粋③	P.27

小学校高学年の部

受賞者一覧	P.28
作品を読んで	P.29
最優秀賞抜粋	P.30
優秀賞抜粋①	P.42
優秀賞抜粋②	P.44
優秀賞抜粋③	P.46
神奈川新聞社賞抜粋	P.48
努力賞抜粋①	P.49
努力賞抜粋②	P.50
努力賞抜粋③	P.51

中学生の部

受賞者一覧	P.52
作品を読んで	P.53
最優秀賞抜粋	P.54
優秀賞抜粋	P.66
神奈川新聞社賞抜粋	P.68
努力賞抜粋①	P.69
努力賞抜粋②	P.70
努力賞抜粋③	P.71
努力賞抜粋④	P.72
第33回木原記念こども科学賞の選考結果	P.74
第33回木原記念こども科学賞応募校一覧	P.75
第33回木原記念こども科学賞選考委員会委員名簿	P.76
自由研究の進め方	P.77
ご寄附のお願い	P.78



「げじげじ虫は、ほんとうに、
きれいなちょうちよになるのか?」
横須賀市立山崎小学校 3年
田口 結菜